

(臨床研究に関する公開情報)

国立病院機構 埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 前立腺 VMAT における DICOM-RT を用いた Gamma Index の推測

【研究責任者】 放射線科 中川 悟

【研究の背景】

近年、放射線治療において強度変調放射線治療 (Intensity Modulated Radiation Therapy : IMRT) の需要は高まっておりその件数は急激に上昇しています。さらに、その後の技術革新により固定多門照射が主流であった IMRT は回転型強度変調放射線治療 (Volumetric-Modulated Arc Therapy : VMAT) に置き換わりつつあります。しかし、米国と比較して本邦の放射線腫瘍医及び医学物理士の数は少なく、治療件数に対して IMRT の治療計画立案者不足が懸念されており、その人材の確保及び治療計画業務の効率化が求められている状況にあります。

【研究の目的】

IMRT は放射線治療計画装置 (Radiation Treatment Planning System : RTPs) を用いて線量計算を行い治療計画 (プラン) の立案を行います。その後、立案されたプランの精度を評価した上で放射線治療が実施されます。その精度評価指標のひとつである Gamma Index を立案されたプランの DICOM-RT から推測することで、業務の効率化及び標準化を目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

独立行政法人国立病院機構埼玉病院において2025年3月31日までに前立腺がんに対する放射線治療をされた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から2026年3月31日

●利用する情報

画像情報：放射線治療計画CT画像及び画像付帯情報、放射線治療計画装置計算結果データ（線量体積ヒストグラム、最大線量、最小線量、平均線量）、プラン検証データ

カルテ情報：身長、体重、病期分類、放射線外部照射情報（投与線量、照射回数、分割回数）、その他治療歴（ホルモン療法、放射線内用療法、密封小線源治療）

【研究組織】

この研究は、当院のみで実施されます。

【情報の管理】

情報は、当院のみで利用します。

この研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。収集した画像・付帯情報は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した情報と識別符号と被験者の対応表は、研究責任者が施錠可能なデスクで厳重に保管します。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報が見えかにならないようにした上で公表します。

【問い合わせ先】

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院

放射線科 中川 悟

電話 048-462-1101